取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



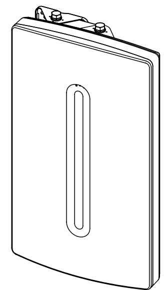
DIGITAL

UHFオールチャンネル（ch.13～62）対応　DIGICATCH

地上デジタル放送用平面アンテナ

［水平・垂直共用、出力75Ω（F形座）仕様］

UAH800



製品の特長

- 従来の家庭用20素子アンテナと同等の、高性能（※）な地上デジタル放送受信用平面アンテナです。
- 取付金具は、アンテナの突出をおさえたスッキリ設計です。
- 壁面だけでなく、マスト（φ22～49mm）や角柱（30×30mm～45×45mm）、市販のステンレスバンドにも対応した多用途設計ですので、さまざまな場所に取り付けることができます。
- 水平偏波受信、垂直偏波受信、屋外、屋内のそれぞれの設置に対応しています。（付属スタンドを使用した場合、垂直偏波受信には対応できません。）
- 積雪時でも性能劣化が少ない構造です。

（※）JEITAのデジタルハイビジョン受信マーク制度『区分D』に登録されました。『区分D』とは、放送電波の強い条件下で使用でき、アンテナ素子が樹脂等で覆われている、屋外に設置可能なアンテナに対する規格です。

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

 **警告**　この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

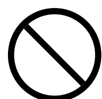
- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



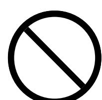
- アンテナのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに登ったり、乗ったりしないでください。特にお子様のいるご家庭では注意してください。落ちたり、倒れたり、破損したりして、けがの原因となります。



- 雷が鳴り出したら、アンテナやケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

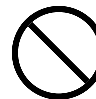


⚠ 注意　この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



- アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。



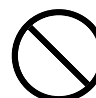
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。



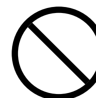
《**販売店・工事店様の安全上のご注意**――お客様もお読みください》

⚠ 警告　この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。



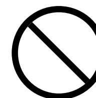
- 強度の弱い場所、不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



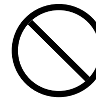
- 高所などに設置する場合は、足場と安全を確保して行なってください。落ちたり、すべったりしてけがの原因となります。



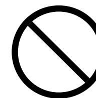
- アンテナの部品や工具類を高い所から落とさないでください。けがの原因となります。



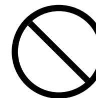
- 風の強い日や雨、雪、霧などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



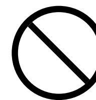
- 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。



- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



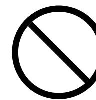
- アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。



- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



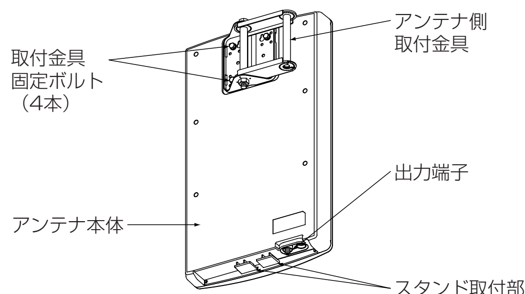
- アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- 壁面やマスト、ベランダ等に取り付ける場合、設置場所の強度に注意し、また長期にわたり台風などの強風に耐えるように強固に固定し、落下、転倒しないよう安全性と信頼性を十分に考慮してください。

各部の名称



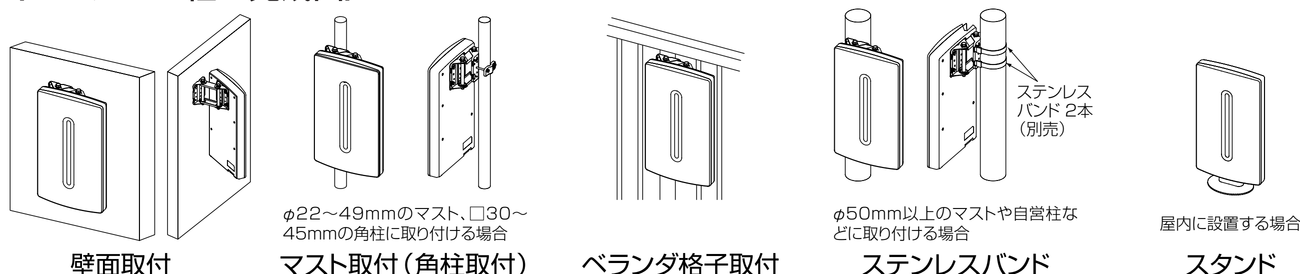
付属品



使用例

- このアンテナは壁面に取り付けるだけでなく、付属品のマスト押え金具を使用してφ22～49mmのマストや30×30mm～45×45mmの角柱に取り付けることができます。市販のステンレスバンドを使用すると、φ50mm以上のマストにも使用できます。
- 付属のスタンドを利用して屋内に設置することもできます。（水平偏波受信のみ）

〈アンテナの組立完成図〉



壁面取付　マスト取付（角柱取付）　ベランダ格子取付　ステンレスバンド　スタンド

〈設置場所と電波到来方向の確認〉

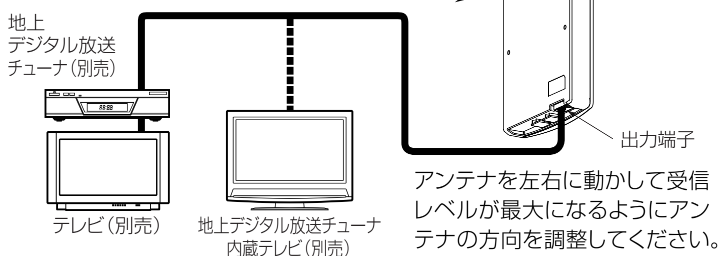
平面アンテナの設置作業をはじめる前に、受信する電波の到来方向を確認して、受信できる設置場所をお選びください。

①アンテナ本体の出力端子と地上デジタル放送チューナまたはテレビのアンテナ入力端子を同軸ケーブル（別売）で接続してください。

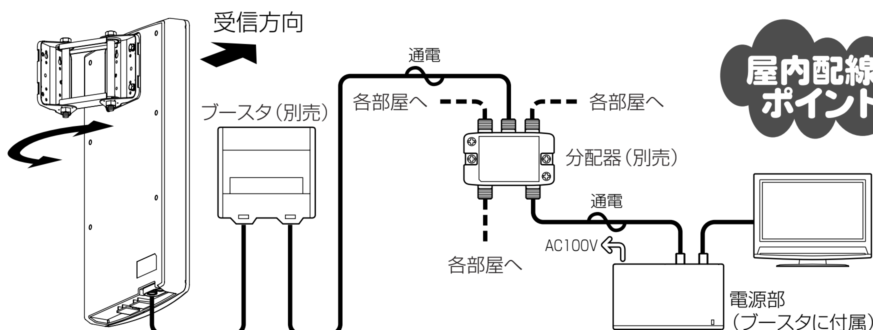
②地上デジタル放送チューナのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。（詳しくはご使用の地上デジタル放送チューナの取扱説明書をご覧ください。）

- 別売のブースタや分配器を使用してホーム共同受信をすることができます。
（アンテナの受信レベルが十分にあることが必要です。）

※テレビによっては分配器が必要な場合があります。
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。



アンテナを左右に動かして受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。



屋内配線のポイント
同軸ケーブルを屋内へ引き込むには配管ダクト（クーラー穴）を利用するか窓のすきまを通すフラットケーブル（別売）を使用すると便利です。

※ブースタや分配器の使用方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

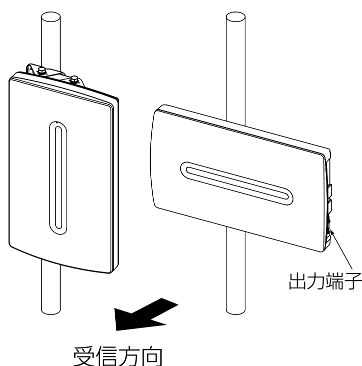
受信偏波とアンテナの向き

●受信する電波の偏波面に合わせてアンテナの取付方法を下図のように変えてください。（出荷時は水平偏波受信用の金具取付となっています）

アンテナ本体の出力端子が下向きになるように取り付けてください。

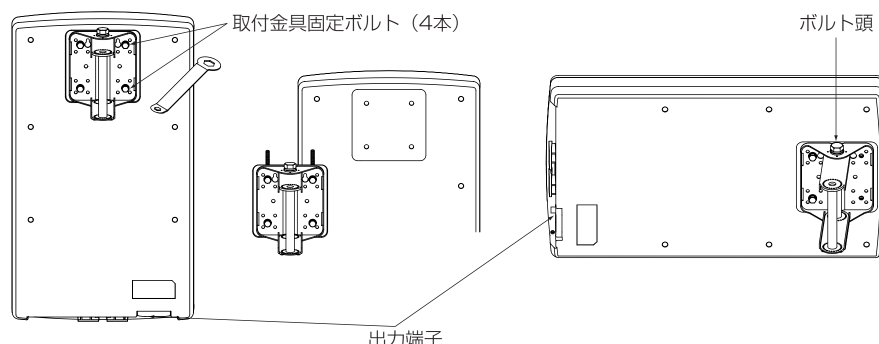
〈アンテナの向き〉

水平偏波受信　垂直偏波受信



〈アンテナの向きをかえるとき〉

①アンテナ本体の背面に付いている取付金具を付属のスパナを用いて一度取りはずします。



②アンテナ本体の向きを90度回転させてから、はずした取付金具を付け直します。このとき、取付金具のボルト頭が上側に出力端子が下側になるように取り付けてください。

アンテナの取付方法

平面アンテナを取り付ける前に、電波が受信できることをあらかじめご確認ください。

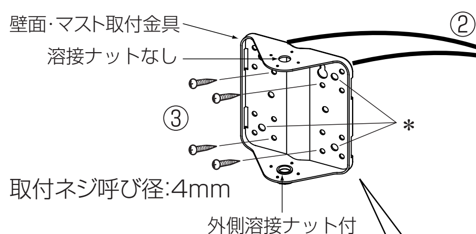
屋外設置

はじめに、付属の壁面・マスト取付金具を固定し、その後アンテナ本体を取り付けます。

〈壁面に取り付ける場合〉

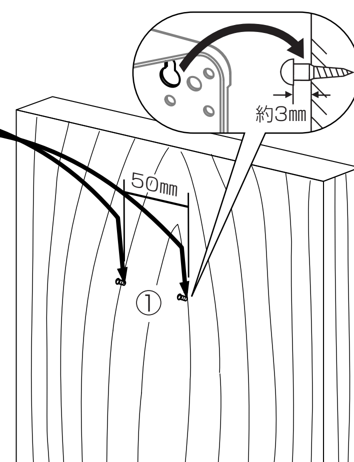
①市販の木ネジなど2本をネジ頭が3mm程度出た状態に取り付けます。
②木ネジに付属の壁面･マスト取付金具を引っ掛け、木ネジを締め付けます。
③他の穴も利用して、壁面･マスト取付金具を6か所以上木ネジなどで壁面に強固に固定します。

※イラストでは板壁と木ネジで説明していますが、取付金具の穴に合う、壁面の材質に適したネジ類をご使用ください。詳しくは工務店にお問い合わせください。



＊印の取付穴を使用するときは穴の大きさに適したネジをお使いください。

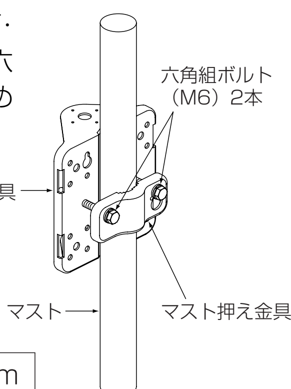
このとき、壁面･マスト取付金具の上下方向に注意してください。上下の三角形の折り返し部分に空いている穴の外側に突起（溶接ナット）がある方が下側です。



（注）十分な強度のある壁面に取り付けてください。

〈マスト／角柱に取り付ける場合〉

図のように、付属のマスト押え金具と壁面･マスト取付金具とでマストを挟み込み、六角組ボルト（M6）2本で左右均等に締め付け固定します。

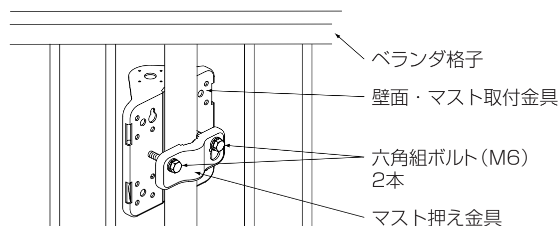


直径22～49mmのマスト、30×30mm～45×45mmの角柱に取り付けることができます。イラストはマストで代用していますが、角柱の場合も同様に取り付けてください。

六角組ボルト（M6）締付トルク　5N･m

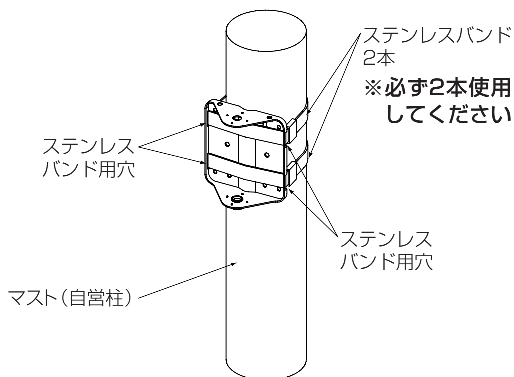
〈ベランダ格子に取り付ける場合〉

図のように、ベランダ格子の太さ直径22～49mm、または30×30mm～45×45mmの角柱部分を壁面マスト取付金具とマスト押え金具とで挟み込み六角組ボルト（M6）2本で左右均等に締め付け固定します。



〈市販のステンレスバンドで取り付ける場合〉

図のステンレスバンド用穴4か所にステンレスバンドを2本かけてマストに固定します。

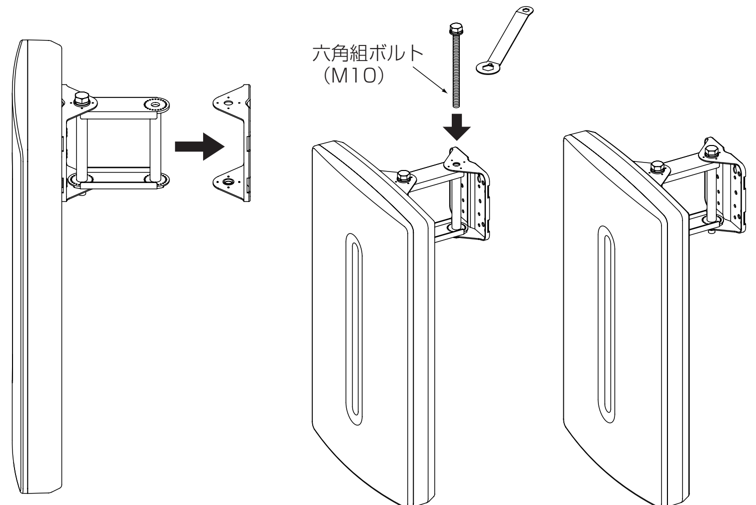


適合ステンレスバンド幅：20mm以下

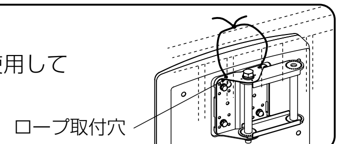
〈アンテナ本体を壁面・マスト取付金具へ取り付ける方法〉

①先に取り付けた壁面・マスト取付金具の上下穴に平面アンテナ背面の取付金具の上下穴を合せます。両方の金具が平行になるようにアンテナ側取付金具を差し込みます。

②下側の穴どうしがはまったところで、六角組ボルト（M10）を上側の穴から通して付属のスパナで仮止めします。



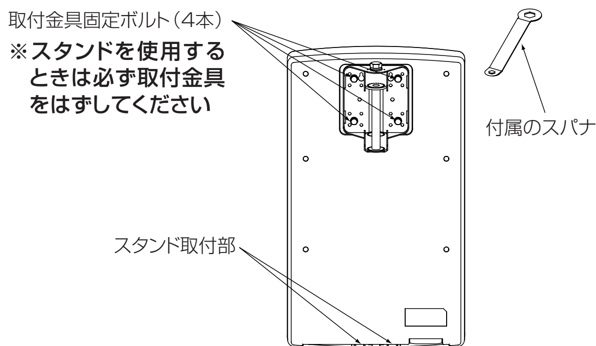
（ご注意）
落下防止のため固定ロープ（市販品）を使用して作業してください。



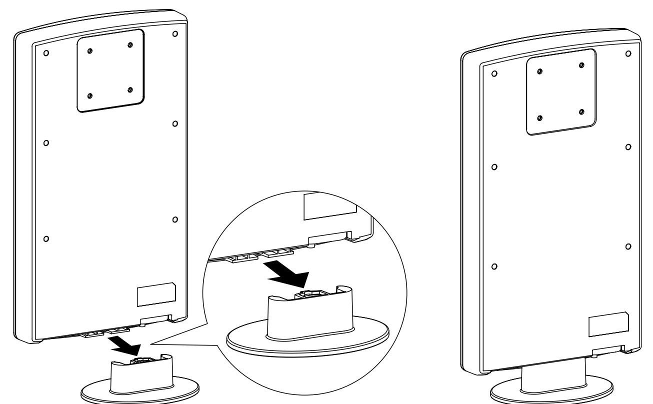
屋 内 設 置

〈スタンドの取付け〉

①まず、アンテナ本体に付いている取付金具をはずします。金具固定ボルト4本を付属のスパナでゆるめて、取付金具全体を取りはずしてください。（取付金具は保管しておいてください。）

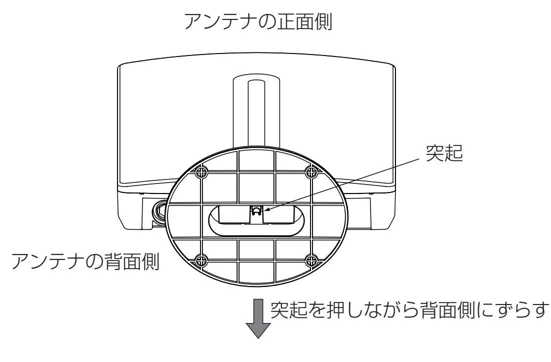


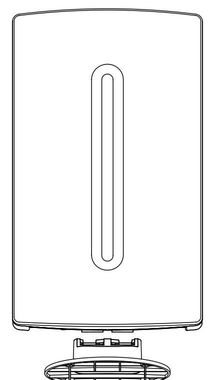
②図のように、アンテナ本体底面のスタンド取付部が付属のスタンドのガイドに沿うように、アンテナの背面側からはめ込みます。スタンドはストッパーがカチッとはまるまで奥に入れてください。



〈スタンドの取りはずし〉

スタンドをはずすときは、スタンド底面の突起をアンテナ側に押してください。突起を押しながらスタンドをアンテナ背面側にずらすとストッパーがはずれて、スタンドをアンテナからはずすことができます。



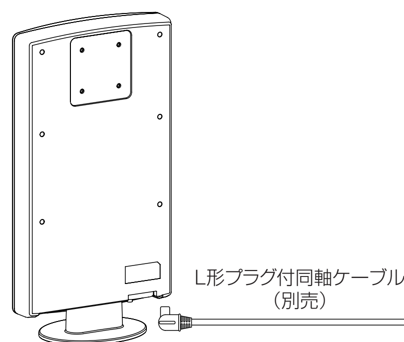


本体へのアンテナケーブル（別売）の接続方法

〈屋内で使用する場合〉

- 屋内で使用する場合は、付属の防水キャップを使用する必要はありません。
- 別売のF形接栓加工済の同軸ケーブル（2C相当の両側L形プラグまたは片側L形、片側ストレートプラグ）等のL形プラグ側をアンテナ本体に接続して使用することをお勧めします。

（注）差込式プラグの場合、長期間使用すると自然に抜け落ちることがありますので、時々接続状態をたしかめてください。



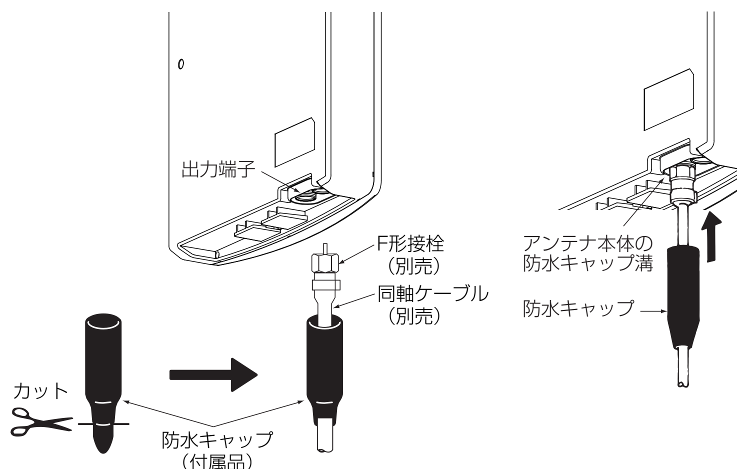
〈屋外で使用する場合〉

- 同軸ケーブルはできるだけ4Cまたは5Cケーブルのご使用をお勧めいたします。接栓は同軸ケーブルに合わせた製品をご使用ください。

①付属の防水キャップの先端をケーブルの太さに合わせてカットし、同軸ケーブル（別売）に通しておいてください。

②同軸ケーブル先端にF形接栓を取り付けた後、アンテナ本体下側の出力端子にしっかりと確実に接続してください。
（接栓締付トルク　2N・m）

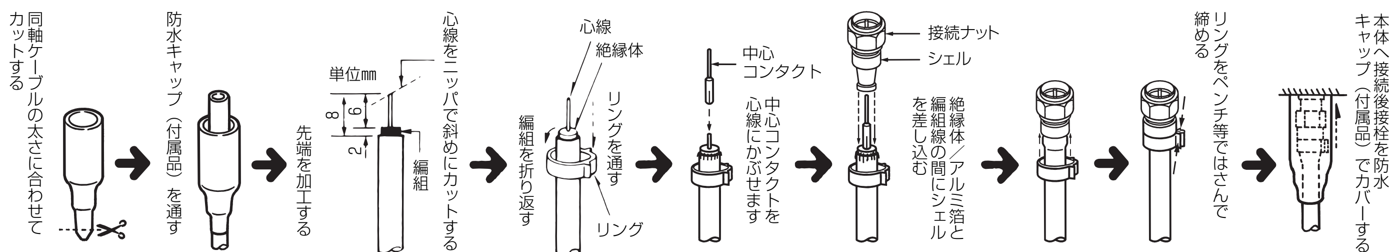
③F形接栓をアンテナ本体に接続した後、防水キャップ（付属品）をアンテナ本体の防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んで接栓部を雨水などからカバーしてください。



〈F-5SN接栓（別売）へのアンテナケーブルの接続方法〉

5C相当同軸ケーブルにF-5接栓（5C同軸ケーブル用接栓）を取り付ける場合の加工例です。

（S-5C-FB用）



- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線・編組に傷をつけたり上記加工以外の加工をすると断線やショート、機器の破損の原因になりますのでご注意ください。また心線と編組は、絶対に接触しないようご注意ください。
- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線は、曲がっていないかを確認し、曲げないように接続してください。
- 設置した後で抜けたりしないように、同軸ケーブルのリングはしっかりと締めてください。
- 接続する同軸ケーブルの接栓の取り付けは、その同軸ケーブル専用の接栓を説明書通り加工してご使用ください。特殊な加工をしたものを使用すると特性の悪化や機器の破損につながります。

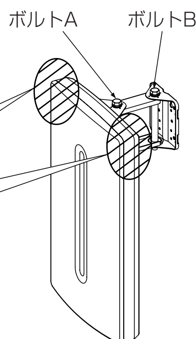
方向調整

平面アンテナの方向は、実際に電波を受信して、レベルチェッカーまたは地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーのアンテナ設定等を確認しながら、受信レベルが最大になるように調整します。まず、アンテナ本体の出力端子にレベルチェッカーを接続するかまたは同軸ケーブル（別売）で地上デジタルチューナー内蔵テレビや地デジチューナーの入力端子と接続してください。

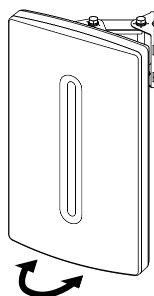
〈屋外設置の場合〉

①ボルトA、Bをゆるめます。

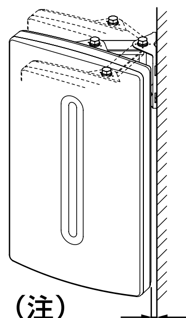
アンテナの方向調整するときは、取付金具に手をはさまないようにこの位置を持って動かしてください。



②「取付金具の位置図」を参考にして、平面アンテナを左右に動かし、受信レベルが最大になるようにアンテナの角度を調整します。
※壁面に取り付けたときに調整できるアンテナの角度は左右ともに60度までです。



③アンテナ側面が壁面から1.5㎝以上離れていることを確認してください。



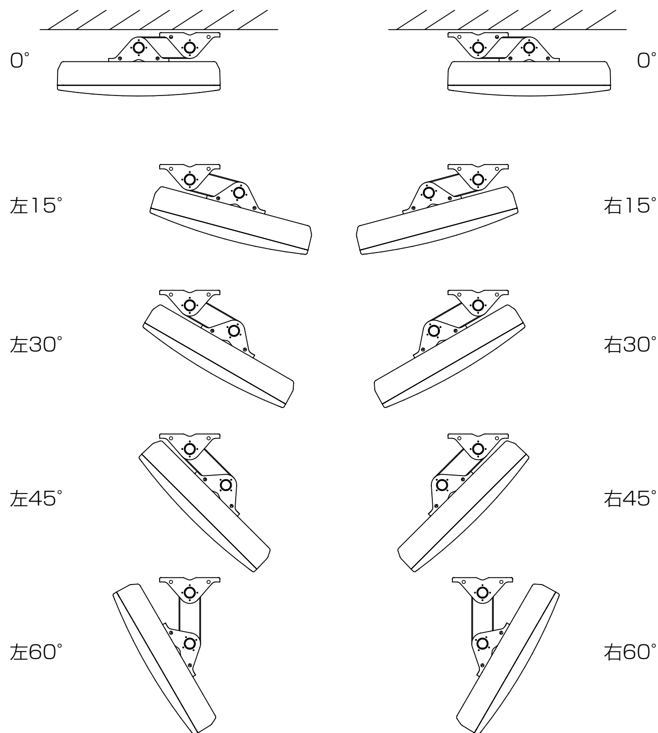
④ボルトA･Bをしっかりと強固に固定します。

六角組ボルト（M10）締付トルク 10N･m

（注）1.5㎝以上離します

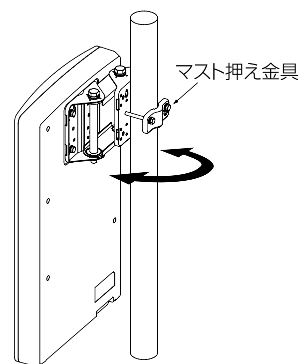
取付金具の位置図

真上から見たときのアンテナと取付金具の角度

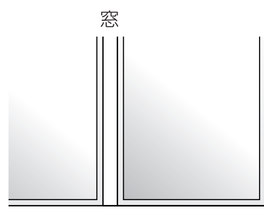


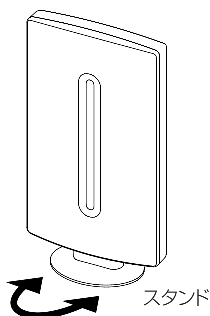
アンテナと取付金具を図のような角度で固定することで、アンテナをより安定させ、壁面からの突出が少ない省スペース設置ができます。

※マストに取付時はマスト押え金具のボルトをゆるめて、マスト押え金具からアンテナまでの全体を回して角度調整することもできます。



〈屋内設置の場合〉





● 屋内で使用する場合は、スタンドを利用して良好な受信ができるようにアンテナの方向を調整します。

ポイント

窓際などでアンテナの向きをいろいろかえながら最も良く受信できるアンテナの向きを探してください。
屋内に設置して良好な受信ができない場合は、ベランダなどの屋外に設置することをお勧めします。

使用上のご注意

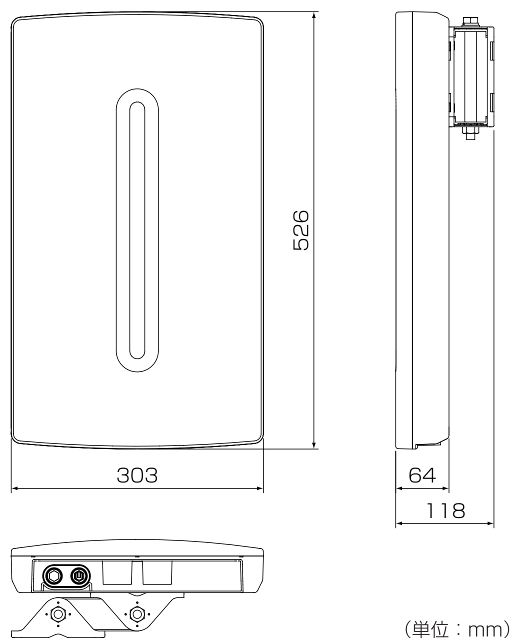
- このアンテナではVHF（ch.1～12）は受信できません。
- 地上デジタル放送を受信するためには、一定以上の受信レベルが必要です。電波の弱い場所や周囲に電波を遮ったり、反射するような障害物のある場所など受信レベルが低い場所では、地上デジタル放送がまったく受信できないかまたは時々ブロックノイズがでるなど不安定な受信状態になることがあります。（このアンテナは地上デジタル放送に加え、従来のUHFアナログ放送も受信可能です。ただし、アナログ放送の受信レベルが低い場所では受信できない場合があります。）
- 屋外で設置の場合、アンテナは電波到来方向の障害物をさけるように、できるだけ高い位置に設置してください。（一般的にアンテナの設置位置が高くなるほど受信レベルが良くなります。）
- 屋内で使用していて受信状態が不安定な場合は、アンテナを屋外に設置してください。
- アンテナを設置するとき、ネジ類はスパナなど工具を用いて、しっかりと締め付けてください。
- アンテナはいつも正しい方向に向いているようにご注意ください。
- このアンテナに多量に雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損する恐れがあります。雪はこまめに払い落としてください。その際、安全には十分注意してください。
- 付属品のスタンドは屋内でのみ使用してください。
- この製品にDC＋15Vは供給しないでください。故障の原因となります。

規格特性

品名	地上デジタル放送用平面アンテナ
品番	UAH800
受信周波数（MHz）	470～770(ch.13～62)
偏波面	水平または垂直
インピーダンス（Ω）	75（F形）
利得（dB）	7.5～9.5（標準値）
VSWR	2.5以下
前後比（dB）	16以上
半値幅（°）	80以下
耐風速（m/s）	45（注1）
適合マスト径（mm）	マスト：ϕ22～49 角柱：30×30～45×45 ステンレスバンド（別売）使用時：ϕ50以上
方位角調整範囲（°）	±60（壁面取付時）
寸法（mm）	526（H）×303（W）×118（D） （取付金具含む）
質量（kg）	1.8（アンテナ部）、1.1（取付金具）

（注1）耐風速は破壊風速です。
規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図





DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、（社）電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店	TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所	TEL.(028)659-1100(代)	・三重出張所	TEL.(059)226-1643(代)	・山陰出張所	TEL.(0853)24-2343(代)
・旭川出張所	TEL.(0166)37-5830(代)	・新潟営業所	TEL.(025)276-2166(代)	・金沢支店	TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所	TEL.(087)868-1222(代)
・東北支店	TEL.(022)243-2141(代)	・茨城営業所	TEL.(029)826-5341(代)	・富山営業所	TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所	TEL.(089)925-3826(代)
・盛岡出張所	TEL.(019)636-1581(代)	・千葉支店	TEL.(043)253-1121(代)	・大阪支店	TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店	TEL.(092)541-0168(代)
・郡山出張所	TEL.(024)921-7131(代)	・木更津出張所	TEL.(0438)23-6281(代)	・堺営業所	TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所	TEL.(093)922-6556(代)
・東京支店	TEL.(03)3526-5402(代)	・静岡営業所	TEL.(054)281-0141(代)	・京都営業所	TEL.(075)382-6141(代)	・長崎出張所	TEL.(095)842-0780(代)
・東京東出張所	TEL.(03)5654-9881(代)	・浜松営業所	TEL.(053)461-6885(代)	・神戸支店	TEL.(078)579-8550(代)	・大分営業所	TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所	TEL.(042)572-4911(代)	・中部支店	TEL.(052)919-6531(代)	・姫路出張所	TEL.(079)283-5920(代)	・熊本営業所	TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店	TEL.(045)651-2557(代)	・松本営業所	TEL.(0263)27-7801(代)	・広島支店	TEL.(082)237-5331(代)	・南九州営業所	TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店	TEL.(048)652-3311(代)	・豊橋営業所	TEL.(0532)57-2133(代)	・岡山営業所	TEL.(086)245-2948(代)	・沖縄営業所	TEL.(098)874-6202(代)

（2009年8月現在）

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒101-0021 東京都千代田区外神田4丁目11番5号 船井ビル TEL.(03)3526-6327(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く）
ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

4467-2

ZK-H-ZZ0 ®